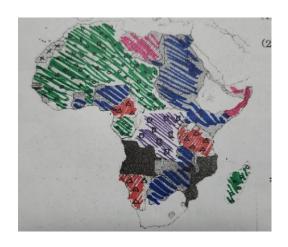


アフリカ

アフリカの植民地支配と旧宗主国

旧イギリス領	エジプトから南アフリカ共和国までの縦ラインと、ナイジェリア、ガー				
	ナなどの広範囲				
旧フランス領	セネガル、モロッコ、アルジェリアなど西部				
旧イタリア領	リビア (ソマリアにも海賊がいた)				
その他	植民地支配 を受けていない⇒ エチオピア				
	第一次世界大戦前に独立⇒リベリア、南アフリカ共和国				
	十数か国が独立した 1960 年⇒アフリカの年 と呼ばれる				



- ■⇒旧イギリス領(スーダンやエジプトなど)
 - ■⇒旧フランス領(アルジェリアなど)
- ■⇒旧ドイツ領(ルワンダ、タンザニアなど)
 - ■⇒旧イタリア領(リビア、ソマリア)
 - ■⇒旧ポルトガル領(アンゴラなど)
 - ■⇒旧ベルギー領(コンゴ民主共和国など)
- ×⇒旧スペイン領(セウタ・シモロッコの下部分)

アフリカの特徴

位置

・赤道を中心として、南北に約35度づつ広がる。

地形

- ・もとは南米大陸やオーストラリア大陸と同じ**ゴンドワナランド**であり、アトラス山脈、ドラケンスバーグ山脈以外は安定陸塊が多い
- ・200m 未満の低地が少なく、テーブル状の地形となっている。
- ・東部に長さ6000kmのアフリカ大地溝帯があり、火山も見られる。
- ・乾燥地形が多く、ワジ(涸れ川)が見られる。

気候

・東経15度沿いに、赤道を中心にしてほぼ南北対称の気候分布となる。

農業

- ・乾燥地帯では外来河川沿いなどでオアシス農業、熱帯地域では焼畑農業
- ・北アフリカではフォガラとよばれる灌漑用地下水路が見られる
- ・エジプトではナイル川流域で農業生産が高く、米の単位面積当たり収穫量が多い。
- ・ギニア湾岸のコートジボワールやガーナでカカオのプランテーションが発達
- ・ケニアはホワイトハイランドで茶の栽培

鉱業

- ・北部とニジェールデルタは産油地域
- ・南部はカッパーベルトで銅を産出し、レアメタルも豊富
- ・南アフリカ共和国は金・石炭・ダイヤモンドなど鉱産資源が豊富

人口

- ・人口爆発により約 10 億人を超え、大陸別ではアジアに次ぐ人口を擁する(増加率は 1 位) 人種
- ・北部はコーカソイド(ホワイトアフリカ)、中南部はネグロイドが多い(ブラックアフリカ) 宗教
- ・北部のコーカソイドは大半がイスラム教徒
- ・中南部は自然崇拝がおおい

国家連合

・AU(アフリカ連合) ※モロッコは不参加

アフリカの問題

アパルトへイト:南アフリカ共和国の人種隔離政策。1991年に廃止

西サハラ戦争:モロッコによる支配

ビアフラ戦争:1960年代のナイジェリアの民族紛争。民族対立を避けるために首都を中央

のアブジャに移転

ダルフール紛争:スーダンにおける、アラブ民族と非アラブ民族の対立。

ルワンダ紛争:フツ族とツチ族が国家の主導権を巡り対立

砂漠化:サハラ南縁のサヘル地域で深刻な問題になっている。



アフリカ大地溝帯は人類発祥の 地とも呼ばれているよ。

茨城寒いね。

アフリカ諸国 (国名はテストに出ないらしいけど一応)

エジプト:アスワンハイダム、(スエズ)運河

スーダン:2011年南スーダンが分離独立

アルジェリア:原油と天然ガス

リベリア:アメリカ解放奴隷の建国, (便宜置籍) 船国

コートジボワール: (カカオ) の生産世界1位

ガーナ:カカオの生産

ナイジェリア: アフリカ最大の人口(1.7億人), OPEC 加盟国, ビアフラ内線 エチオピア: (コーヒー)の原産地, アフリカ最古の独立国, コプト派

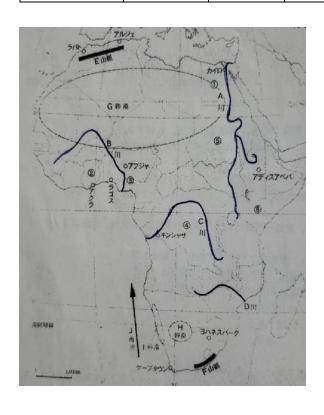
コンゴ民主共和国:赤道直下,コンゴ盆地,(カッパー)ベルトの銅やダイヤモンド

ケニア:(ホワイトハイランド)(白人入植地),(茶)・コーヒーの生産

マダガスカル:複雑な気候,1/4はマレー系住民,稲作

南アフリカ共和国: 17c オランダ人(ブーア人)18c 末イギリス人入植, アパルトヘイト 1991 年廃止

国名	面積(万㎞)	人口(万)	GNI	公用語	主な宗教
			(ドル)		
エジプト	100.2	8206	3138	アラビア語	イスラム教
アルジェリア	238.2	3921	5165	アラビア語	イスラム教
ナイジェリア	92.4	17362	1426	英語(ハウサ語、ゴル	キリスト教、
				バ語、イボ語など)	イスラム教
エチオピア	110.4	9410	453	アラハム語	キリスト教
南アフリカ	122.1	5278	7173	ズールー語、英語など	キリスト教
共和国				11 公用語	



A ナイル川

B ニジェール川

C コンゴ川

D ザンベジ川

E アトラス山脈

F ドラケンスバーグ山脈

G サハラ砂漠

H カラハリ砂漠

I ナミブ砂漠

J ベンゲラ海流

北アメリカ

特色

- ・アメリカ合衆国やカナダはガングロ・サクソン人による開発と移民
- ・地下資源に恵まれた広大な土地
- ・資本主義の発達による生産性の高い産業

カナダ 首都 オタワ

面積 997 万km 人口 3500 万人 アメリカとの数理的国境線⇒西経 141 度 北緯 49 度 自然

・東部:ハドソン湾中心に広がる安定大陸のカナダ楯状地

・西部:新期造山帯に属するカナディアンロッキー、氷食地形とフィヨルド

・中部:合衆国から続くグレートプレーンズ、プレーリーの延長にあたる構造平野

民族と社会

- ・公用語 英語、フランス語
- ・英語圏の中心都市トロント(オンタリオ州)、フランス系住民はケベック州に多い
- ・中心都市モントリオールで分離独立運動も根強い⇒首都は州界のオタワ
- ・先住民のネイティブアメリカンやイヌイットは約 1%⇒ヌナブト準州

産業

・農業:プレーリー三州で春小麦生産、耐寒性品種ガーネット種

水産業:ニューアンドランド島近海は潮目やバンクに恵まれる。

フランス系漁民が開拓

西側はサケ、マスなどの大漁場、河川漁業に特色

林業:ロシアに次ぐ森林国、パルプ、製紙工業の発達

鉱工業:地下資源豊富、五大湖北部のサドバリでニッケル、ラブラドル半島で鉄鉱石を産出 ロッキー山脈沿いのエドモントン付近ではオイルサンドを産出 工業はアメリカ資本が多い

交通:大陸横断歩道が二本、セントローレンス川は五大湖と結合し、セントローレンス海路 ※閘門式が 1959 年開通

*グリーンランド

・デンマークの自治領で世界最大の島、面積 217 万k㎡、人口 5.7 万人 大陸氷河の島、海岸はフィヨルド地形、カーナークにはアメリカ軍基地がある。



プレーリー3州は

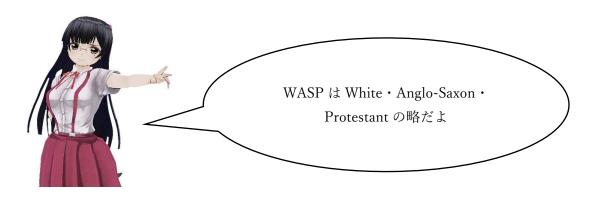
アルバータ・サスカチュワン・マニトバのことね

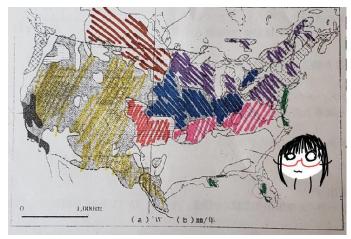
アメリカ合衆国 首都 ワシントン D.C 面積 936 万k㎡(世界 4 位) 人口 3.18 億人 連邦制 56 の州とコロンビア特別区ワシントン D.C で構成 自然

- ・気候: 西部沿岸は Cs 気候、東部、南部は Cfa 気候、中西部は BS 気候、北部は Df 気候が 多い
- ・地形:西部にロッキー山脈(新期造山帯)東部にアパラチア山脈(後期造山帯) 西部のサンアンドレアス断層は「ずれる境界」 中央部を流れるミシシッピ川は水運に利用され、河口は鳥し状三角州 リオ・グランデ川はメキシコとの国境 五大湖は世界最大の氷河湖である。 ナイアガラの滝周辺はケスタ地形
- ・アメリカ合衆国の人種・民族
 「人種のるつぼ」から「人種のサラダボウル」へ。多くの人種が存在
 先住民族のネイティブアメリカン、白人に加え、アジア系や黒人、スペイン語系のヒスパニックなど、多様な人種、民族が存在。近年はインドからの移住者が増加(IT 系が多い)
 WASP が政治、経済の中枢を握ってきた。 アラスカにはイヌイットが居住

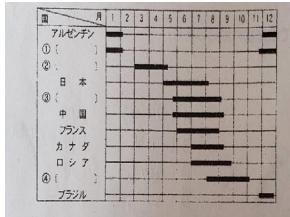
産業 ・ 典版業・ を

- ・農牧業:年降水量 500 mmの線は西経 100 度付近を通り、小麦栽培が盛ん このラインより東側は年降水量 500 mm以上で、北から酪農、混合農業(コーンベルト)、綿 花地帯(コットンベルト)となる
- ・中西部では企業的牧畜*フィードロット、西海岸では地中海式農業がみられる 農業の特徴
- ・穀物メジャーを中心に、世界規模のアグリビジネスを展開
- ・最先端のバイオテクノロジーで、遺伝子組み換え作物などを開発
- ・センターピボット方式の大規模灌漑(地下水の枯渇問題)
- ・穀物生産はトウモロコシ、大豆が1位、小麦は4位
- ・穀物輸出はトウモロコシ1位、大豆と小麦が2位



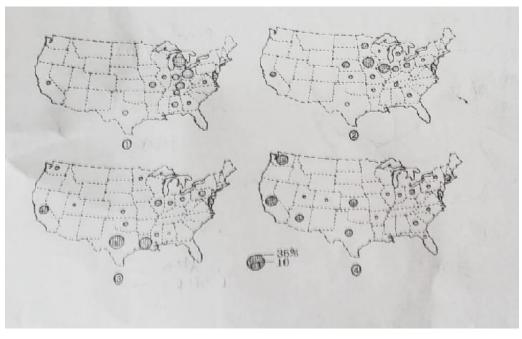


- ■⇒酪農
- ■⇒園芸農業
- ■⇒とうもころし
 - ■⇒各種農業
 - □⇒綿花
 - ■⇒冬小麦
 - ■⇒春小麦
 - ■⇒放牧灌漑
- ■⇒地中海式農業



小麦収穫表

- ①オーストラリア
 - ②インド
 - ③アメリカ
 - ④イギリス



工業生産額の出荷額の割合

① 自動車 ②穀類精製 ③石油・石炭製品 ④航空機・宇宙産業

鉱業

- ・アパラチア炭田、メサビの鉄鉱石、ロッキー山脈沿いの銅鉱、メキシコ湾岸の石油などの 資源が豊富。シェールガス開発も進む。
- ・天然ガスの産出量は世界 1 位。石炭産出は 3 位、原油の産出は 1 位。原油の輸入量は 2 位工業
- ・北東部ニューイングランド地方のボストン(綿工業→IC)
- ・五大湖沿岸のデトロイト(自動車) ・ピッツバーグ(鉄鋼→IC)
- ・メキシコ湾岸のダラス(石油) ・ヒューストン(宇宙産業)
- ・太平洋岸のシアトル・ロサンゼルス(航空機)、サンノゼ(IC)

北緯37度以南のサンベルトに工場が増加(低賃金、広い敷地)

アラスカとハワイ

- ・アラスカ: 1867 年にロシア帝国より購入。 パルプ・製紙工業・水産業 北極海沿岸のノーススロープ油田…太平洋岸から輸出
- ・ハワイ:1898年ハワイ王国(カメハメハ王朝)併合 パイナップル、洋島、交通・軍事上の基地、観光客多数、北東貿易風 マウナロア山…アスピーテ

*太平洋上のグアム、ウェーク島、カリブ海のプエルトリコ島などアメリカ統治



1992 年は持続可能な開発について

の地球サミットが開催されたよ~

メキシコ 首都 メキシコシティ

鉱工業

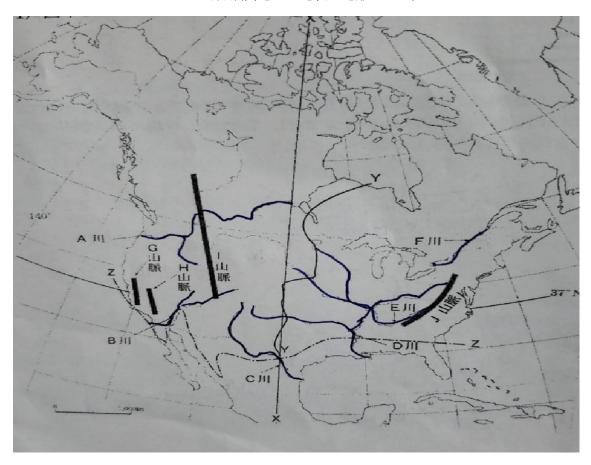
- ・メキシコ湾岸を中心に石油を産出
- ・かつてアメリカ国境にマキラドーラ(保税輸出加工区)を設置。
- ・そのご、NAFTA 結成を機にさらに工業成長を遂げた。

人種・民族

・スペイン語が公用語で、混血のメスチソが多い

都市問題

・メキシコシティはスモッグが深刻(高地で盆地状の地形のため)



A コロンビア川 B コロラド川 C リオグランデ川 D ミシシッピ川

E テネシー川 Fセントローレンス川

G 海岸山脈 Hシエラネバタ山脈 Ι ロッキー山脈 J アパラチア山脈

Xの経度→W100度

Y の年降水量→500 mm

Ζの1月の平均気温→10度

アメリカの北緯37度以南の地域→サンベルト

中央、南アメリカ

気候

・ブエノスアイレスは Cfa 気候、リマは Bw 気候、ラパス、キトは H 気候

植生

・アマゾン川流域の熱帯雨林セルバ、オリノコ川流域の熱帯草原リャノ、ブラジル高原の熱 帯草原カンポ、アルゼンチンの温帯草原パンパが分布

地形

- ・西部にはアンデス山脈*新期造山帯が南北に走る
- ・太平洋岸にはアタカマ砂漠。寒流のペルー海流の影響で形成
- ・チリ南部の海岸線にはフィヨルドが見られる。
- ・ラプラタ川河口はエスチュアリー *三角江

混血人種

- ・メスチーソ 白人とインディオ
- ・ムラート 黒人と白人
- ・サンボ 黒人とインディオ

人種と国家

- ・メスチーソの割合が高い国はチリ~メキシコ間
- ・白人の割合が高い国はアルゼンチン・ウルグアイ
- ・インディオの割合が高い国はペルー・ボリビア
- ・黒人の割合が高い国はジャマイカ・ハイチなどカリブ海に分布

旧宗主国

- ・大半の地域は旧スペイン領で、ブラジルは旧ポルトガル領、両国の影響で宗教はカトリックが多い。
- ・カリブ海の島々は、ジャマイカ(旧イギリス領)、ハイチ(旧フランス領)など。

農業

- ・大土地所有制が残存し、大農場が多い。ブラジルでは、ファゼンダ、アルゼンチンではエスタンシアとよばれる
- ・ブラジルはコーヒーのモノカルチャー経済から脱し、サトウキビや大豆・牛肉など多角的な農業経営に転換した。
- ・アルゼンチンでは小麦栽培が盛ん。北半球の端境期に収穫
- ・アンデス山脈では高度に応じて作物を栽培しており、低地から高地ではリャマ、アルパカ の放牧がおこなわれる。

漁業

・ペルー・チリは漁業がさかんで、アンチョビを魚粉に加工して輸出している。

鉱工業

- ・ブラジルはカラジャス・イタビラ鉄山の鉄鉱石や、ボーキサイトなどが豊富。
- ・最近は原油を自給
- ・ベネズエラは原油を産出。マラカイボ油田
- ・チリは銅を産出
- ・ブラジルは工業発展が著しく、BRICsの一角である。外国資本の自動車工業などが立地 その他
- ・パナマは便宜置籍船国で、船籍の登録が非常に多い。
- ・ブラジル・ペルーには日系人が多い。1990年の入管法改正以降、日系人の日本への出稼ぎが増加。
- ・1992年にはリオデジャネイロで地球サミットが開催された。

問題

- ・鉱山開発や農牧業の拡充、道路開発などによる熱帯林の減少
- ・エルニーニョ現象による異常気象、漁業不振
- ・アルゼンチンなど多くの国が累積債務を抱えている。

ラテンアメリカの国々

・中央アメリカ・西インド諸島

メキシコ:面積 196.4 万km 、人口 1.2 億人

パナマ:パナマ運河、便宜置籍船

キューバ:1959年革命。社会主義国、サトウキビ…国営農場中心

ジャマイカ:旧英領、ボーキサイトの産出、コーヒー

ハイチ:旧仏領、世界初の黒人独立国(1804年)

*プエルトリコ:アメリカ領

南アメリカ

ブラジル:面積 851.5 km 、人口 2 億人 首都 ブラジリア

旧ポルトガル領 日系人が多い

サンパウロ州、パラナ州のコーヒー栽培、綿花、カカオ等の多角経営に進出 大農園…ファゼンダ 鉄鉱石…イタビラ鉄山、カラジャス鉄山、ウジミナス製鉄所 ボーキサイト産出

工業化⇒ラテンアメリカ最大の工業国、BRIC s の一つ

サトウキビを原料としたバイオエタノールの生産

アルゼンチン:面積 278 万k㎡、 人口 4200 万人、首都 ブエノスアイレス 白色人種が多い。フォークランド戦争

ラプラタ川河口の湿潤パンパ…混合農業、牧草アルファルファの栽培 南部のパタゴニア地方は乾燥気候で牧羊 大農園…エスタンシア

チリ

- ・北部…アタカマ砂漠 *海岸砂漠 ペルー海流
- ・中部…Cs 気候⇒ブドウ栽培 南部…フィヨルド海岸
- ・非等温線国家、銅の生産…チュキカマタなどの鉱山

ベネズエラ

- ・原油生産…マラカイボ湖とオリノコ川中下流域
- ・ギアナ高地に鉄鉱石、リャノでは放牧(羊)、OPEC 加盟

コロンビア ・コーヒーのモノカルチャー経済から石油輸出国へ

ペルー

- ・アンチョビの漁獲、近年エルニーニョ現象と乱獲で一時衰退 *漁獲量世界 5 位 2012 年 ボリビア
- ・首都のラパスは、4058m に位置、常春、チチカカ湖、ペルー南部からボリビアや北部アルゼンチンの3500m~5000mの高原草原にはリャマやアルパカ放牧。またこの地域の乾燥ジャガイモ(チューニョ)

エクアドル ・バナナ 首都キト (赤道直下の高山都市)

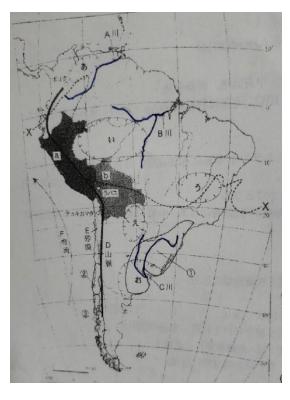
ウルグアイ ・ラプラタ川 湿潤パンパ 白色人種多い

パラグアイ ・マテ茶 ケブラチョ

ガイアナ ・旧イギリス領 インド系多い

スリナム ・旧オランダ領 インド系・インドネシア系多い

*ギアナ 旧フランス領



A オリコ川

B アマゾン川

C ラプラタ川

D アンデス山脈

E アタカマ砂漠

F ペルー海流

あ リャノ い セルバ う カンポ え グランチャコ お パンパ

線 X の 7 月の平均気温 20 度